

3 - 11 関東地方の地殻変動

Crustal Movement in the Kanto District

国土地理院
Geographical Survey Institute

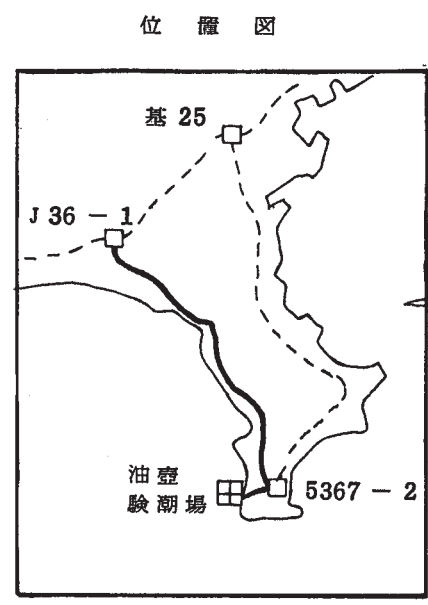
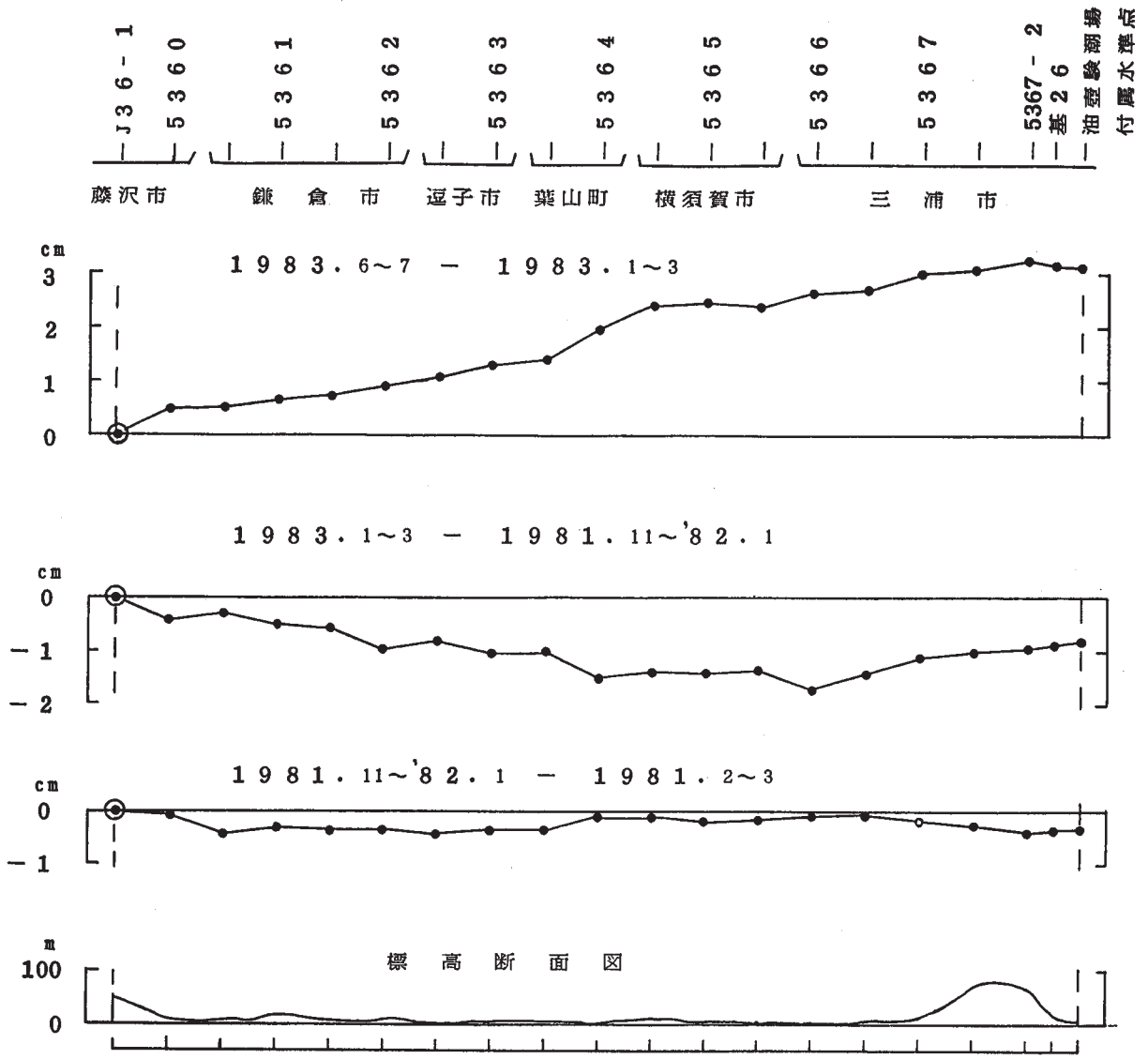
第1図は三浦半島西岸，藤沢，油壺間の上下変動である。1983年1～3月と1983年6～7月の測定の比較で，半島の南側が3cm隆起した。

第2図から第5図迄は房総半島南部の上下変動である。1981年と1983年の比較をみると，第2図で富津に対して鴨川が多少隆起，第4図でも館山に対して鴨川，勝浦側は明らかに隆起しており，その前の1979年と1981年の比較を含め，この数年間，東上りの傾動がつづいたものと考えられる。第5図は網平均による上下変動量である。

第7図は国税宿舎を中心とする放射基線及び千葉大を中心とするその測定結果である。いずれも有意な変化はない。

参 考 文 献

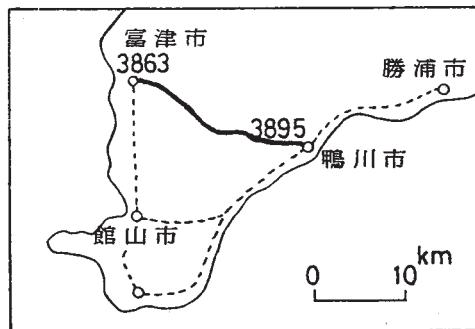
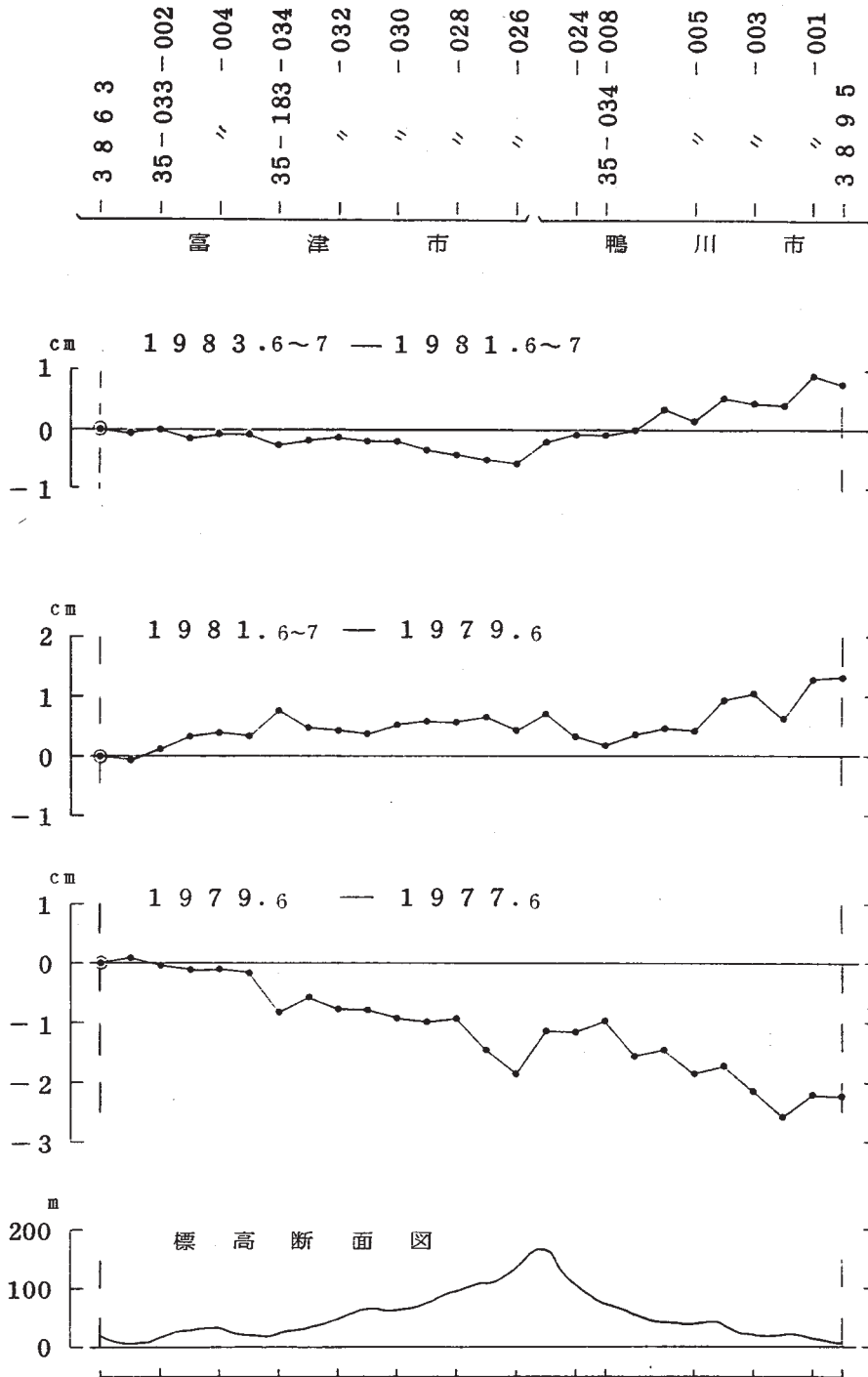
- 1) 国土地理院地殻調査部・鹿野山測地観測所：房総南部地方の地殻変動，連絡会報，**27**（1982），111-116.
- 2) 国土地理院：首都圏精密変歪測量結果，連絡会報，**28**（1982），128-129.
- 3) 国土地理院：首都圏の上下変動，連絡会報，**30**（1983），76-81.



白又キは改埋点を示す。

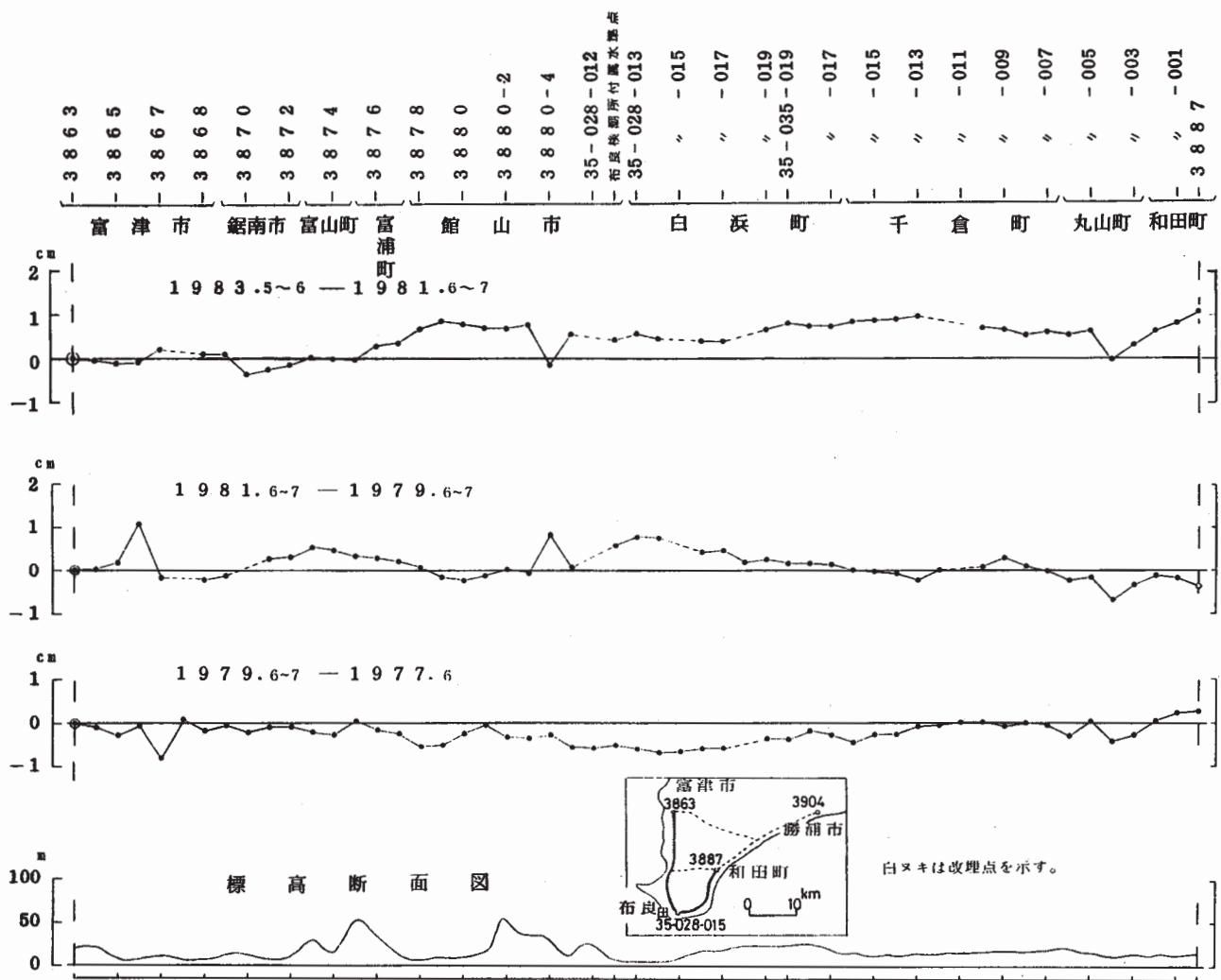
第1図 三浦半島の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Fujisawa to Miura.



第2図 富津・鴨川間の上下変動

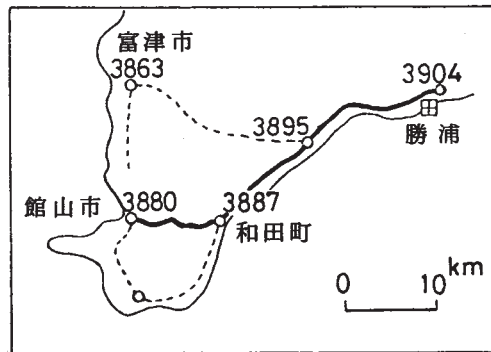
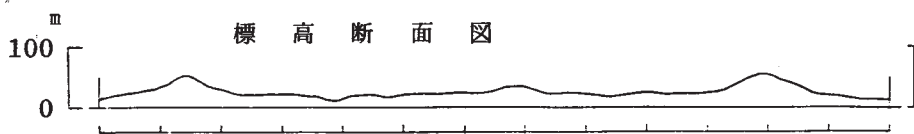
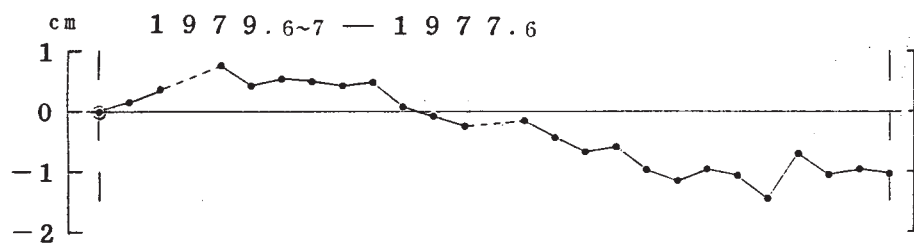
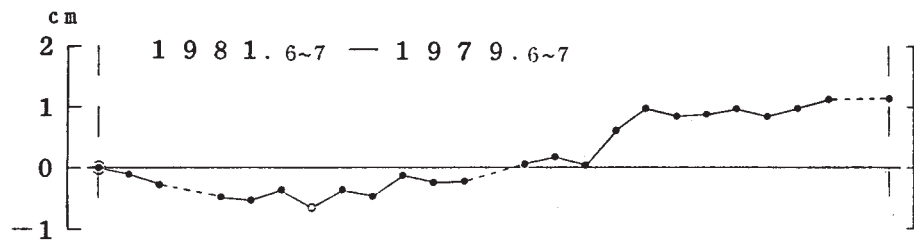
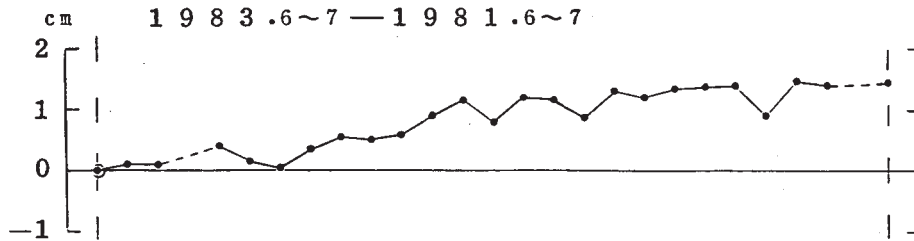
Fig. 2 Level changes along the route from Futtsu to Kamogawa.



第3図 富津・白浜・和田間の上下変動

Fig. 3 Level changes along the route from Futtsu to Wada through Shirahama.

3880	3882	3884	3886	3888	3890	3892	3894	3896	3898	3900	3902-1	3904	勝浦験潮場 付20
館山市		丸山町	和田町		江見町		鴨川市		天津小湊町			勝浦市	

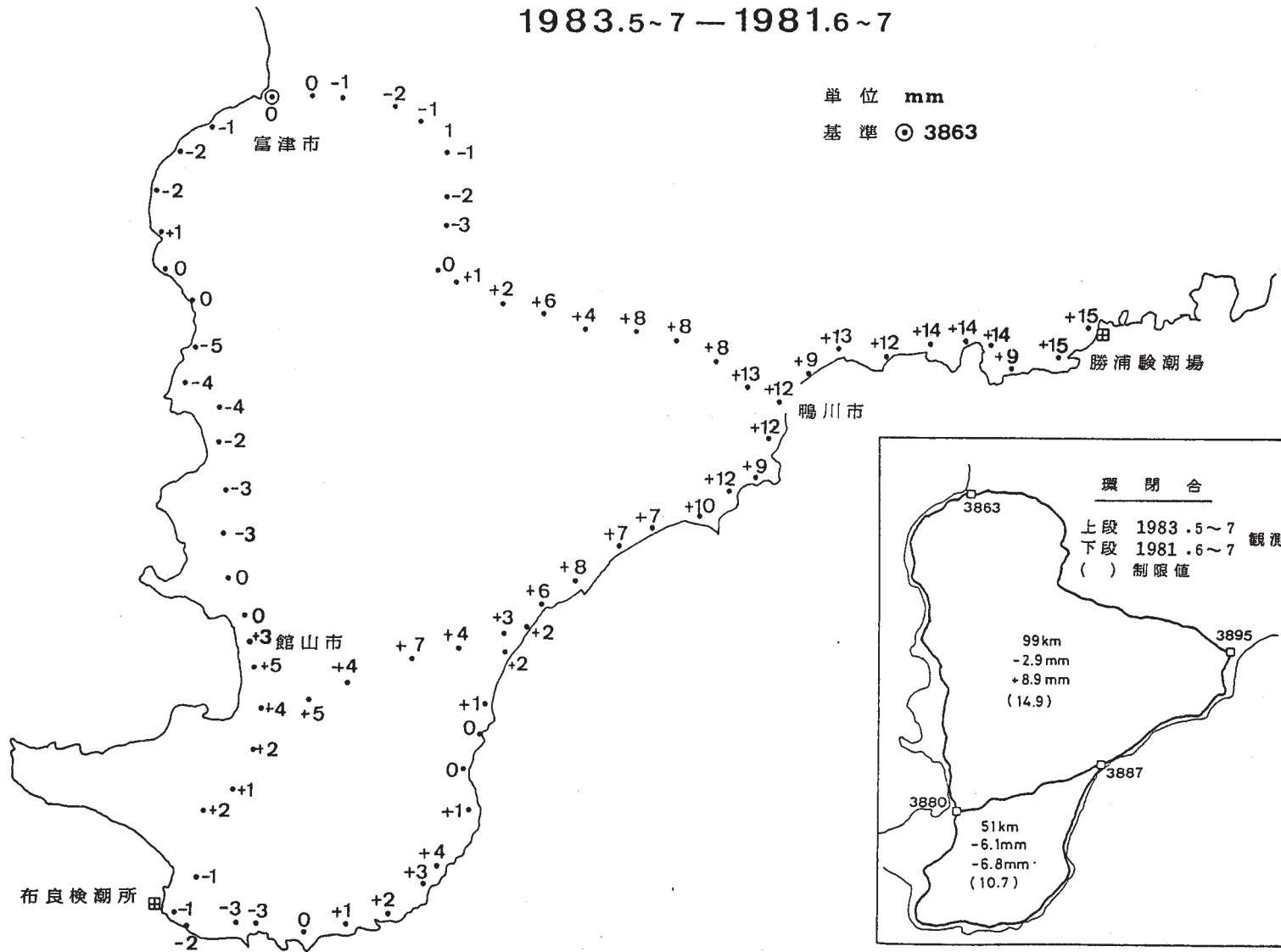


白マキは改埋点を示す。

第4図 館山・勝浦験潮場間の上下変動

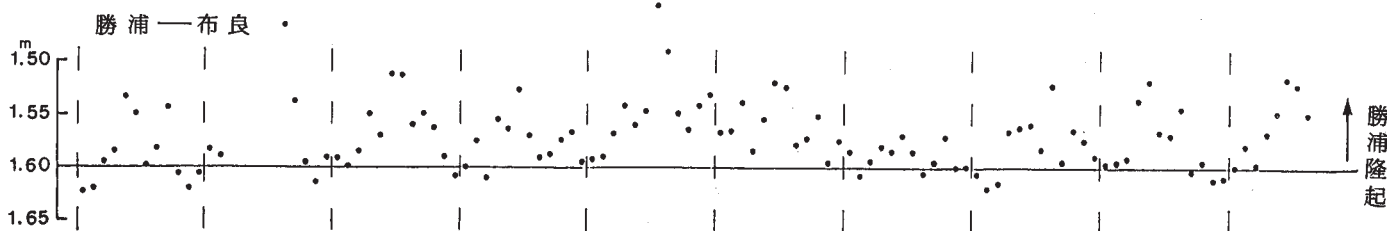
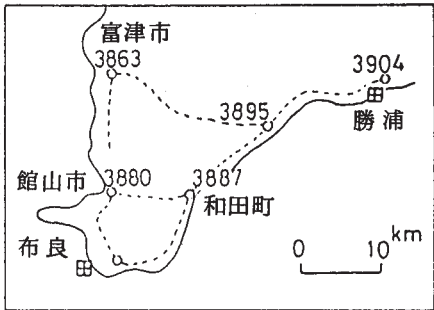
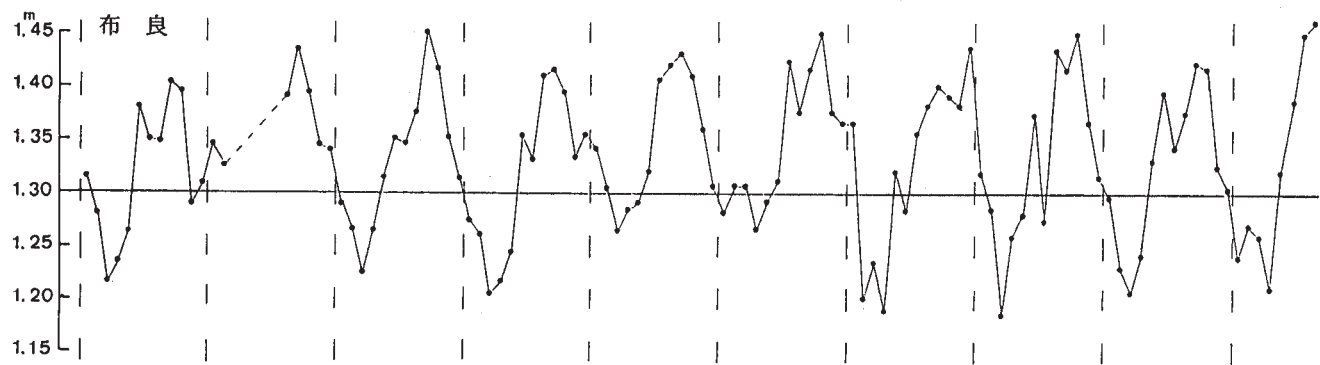
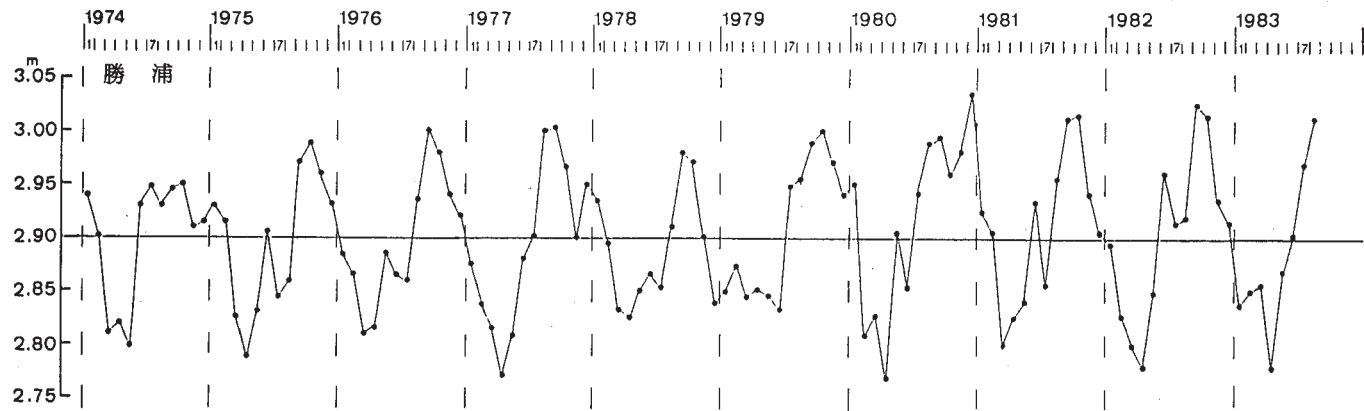
Fig. 4 Level changes along the route from Tateyama to Katsuura.

1983.5~7 — 1981.6~7



第5図 房総半島南部の上下変動

Fig. 5 Vertical movement in the southern part of Boso Peninsula.

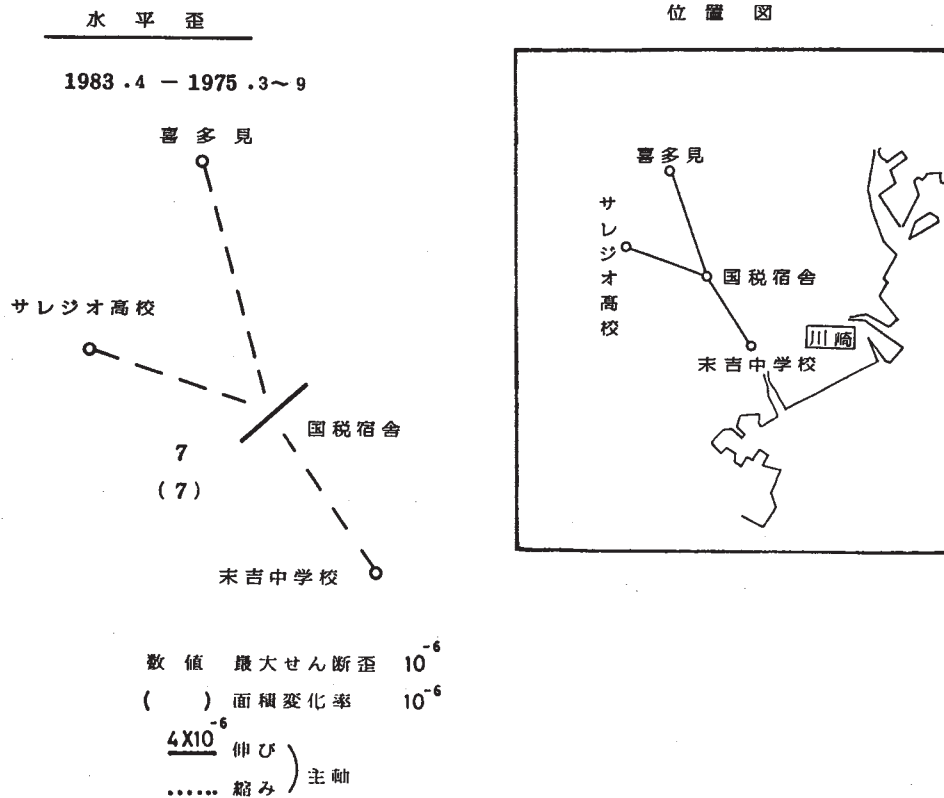


海岸昇降検知センター「潮位年報」による。

第6図 勝浦・布良験潮場の月平均潮位及び潮位差

Fig. 6 Difference in monthly mean sea level between Katsuura and Mera.

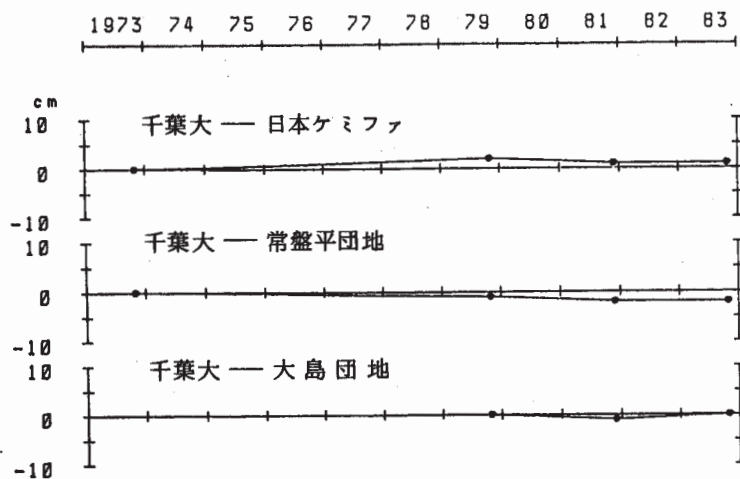
測定年	1	2	3	4	5	5-1	5-2	5-3	5-4
区 間	1975. 3	75. 9	79.10	81.11	83. 4				
国税宿舎-サレジオ高校	5971. ■	■ .48	■ .49	■ .49	■ .49	cm	cm 1	cm 0	cm 0
国税宿舎-喜多見	7901. ■	■ .55	■ .55	■ .56	■ .56		1	1	0
国税宿舎-末吉中学校	5599.78		.79	.78	.78	0		-1	0



第7図 首都圏精密変歪測量結果

Fig. 7 Results of radial base line strain measurement in the Metropolitan Area.

測定年 区 間	1973.10	'77.10	'81.11	'83.10
千葉大—日本ケミファ	9451.48 ^m	.50 ^m	.47 ^m	.47 ^m
千葉大—常盤平団地	5283.44	.43	.42	.42
千葉大—大島団地	11185.	.66	.65	.66



(2)

第7図 つづき
Fig. 7 (Continued)

辺長変化及び水平歪

1983.10—1981.11

